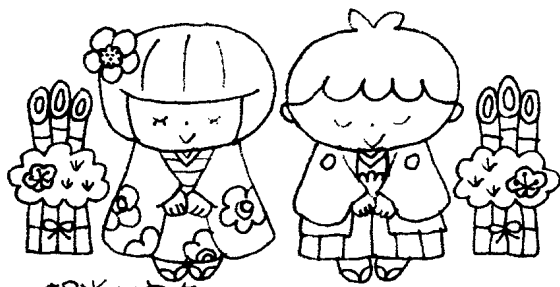




# ひまわり組だより 1月号



平成29年1月20日 ことり保育園 担当:安友

北風に身を縮める季節になりましたが、「先生見て、息が白い」「朝、霜柱踏んで来たよ」と、子ども達は冬ならではの発見を楽しんでいます。

先日、カルタ取り大会を行いました。(2月から少しずつ、ルールを確認しながら遊ぶ機会を作ってきたこともあり、ビニールテープでかたどった丹の中には入らないこと、違う札を触ってしまうと「おきつぎ」になることなど、子ども同士で声を掛け合う姿が見られました。初めのうちは「1枚しか取れなかった…」と涙したり、「たくさん札を取りたい」という思いからルールを守れない子もいましたが、保育者が「勝ち負けじゃなくて、皆で楽しむのが一番じゃないかな。取れた札がたしんで、1枚でも、先生は嬉しいよ。〇〇くんも、△△ちゃんも、こんな風に平仮名がわかるようにたしたんだよねーってわかるもの」と何度も伝えていくと、「今日は前と違うのが取れたよ」「〇〇ちゃんは自分の名前「あ」を取ったんだね」と、一人ひとりの捉え方が変わってきました。カルタ取りという活動を通して、保育者の思いを子ども達が受け取り、広げてくれる姿に胸が熱くなりました。

さて、最近 ひまわり組では「ゆりさん」ということばを覚識する子が増えています。「もうすぐゆりさんになるとかもんね」「ゆりさんみたいにやってみようか」保育者が声を掛けに取入れると、子どもの目がキラッと輝くのを感じます。憧れのゆりさんへ近づくとためにはどうすれば良いか…クラスの皆で考えながら生活していきたいです。

